

# サロウト

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会猿払分科会日より



事務局：浜鬼志別小学校  
01635-2-3253 2-3285  
2014.9.12 No2

★プレ大会も2週間後に迫りました。宗谷はすっかり秋の佇まいです。猿払村にお越しの際は、交通安全とともに服装にも気をつけて・・・

★第2号は、第1分科会（浜鬼志別小学校会場）の様子をお伝えします。全校児童51名の単式複式学級が混在した海辺の学校です。

## 本大会をきっかけに伸ばしたいのです！

本校は、全児童数51名。14名(2, 3年)と15名(5, 6年)という大人数の複式学級がふたつあります。実態も、個々としても集団としても、決して優れているわけではなく、むしろ未熟な学習集団であり、複式授業の研究も実践も進んでいるとはいえません。

この研究大会を、現状の研究推進の課題に立ち向かうひとつのきっかけととらえています。本大会では、二つの国語科授業を公開します。本校としても大きなチャレンジです。児童の実態から始め、児童の顔をいつも思い浮かべながらの授業研究を進めています。だから二つの授業とも、全員が指導案検討からなるべく深くたくさん関われることをめざしています。さらに、隣接する知来別小学校の全先生が、協力校として、指導案検討から模擬授業まで時間を作ってきて下さり、授業づくりをしています。



そして、このたびの授業づくりのキーワードは…「自己解決(個と集団)の第1歩」「相互評価の活用」「実態からスタート」でしょうか。現在、全職員一体になって試行錯誤して授業づくりしているところです。

猿払村立浜鬼志別小学校研修部長 三野宮公恵



猿払村立浜鬼志別小学校の4年生は男子1名女子7名のにぎやかなクラスです。クラスのチャームポイントは「楽しいことが大好き」ということ。一人が笑いだすとつられて二人三人…いつしかクラス中が大笑いしてしまいます。

苦手なことは？と聞かれると両手では数えきれないくらいありますが、それも「楽しいエネルギー」で乗り越えるぞ！と頑張ります！

国語の学習も、けっして“得意”とは言い切れないところもありますが、楽しく学習を進めていきたいと思っています。

今回の授業公開は「花を見つける手がかり」という説明文を教材に、「文章を要約する」ことを学んでいきます。大人でも「文章を要約する」ことは簡単なことではありません。子どもたちからも「難しい」「分からない」という言葉が多く聞かれる学習内容でもあります。

子どもたちの意欲を失わないように、「要約するっていいな」と感じてもらえるよう、授業展開を工夫したいと思っています。

久しぶりの小規模校での授業づくりに、思考錯誤の毎日ですが、今回の授業公開を私自身の良い学びの場としたいと思います。

参観される先生方より多くのご助言をいただき、よりよい明日の授業をつくっていききたいと思えます。

猿払村立浜鬼志別小学校 4年担任 高橋 哲雄

個性的なタレントがそろう5年生(男子3名女子6名)と、最高学年としての役割を自覚して行動できる6年生(男子1名女子5名)の明るくパワフルで良くも悪くも素直な学級です。

『下級生のお手本になり、みんなを引っばっていきける5・6年生』を学級目標に、下級生のことを意識しながら、手本となるべく何事にも全力で取り組んでいます。今年の運動会では全力を尽くす姿を見せることで下級生を引っばっていくことができました。現在は10月の学芸会に向けて、6年生を中心に支え合い、高め合いながら活動を始めているところです。

学習については、国語に限らず苦手意識の強い児童が多く、学習規律などの課題もありますが、自分の課題に対して前向きに取り組む児童が多く、友達同士で助け合いながら日々学習に取り組んでいます。また、家庭学習にも意欲的に取り組んでいます。

今回の授業では、苦手ながらも自分なりの考えを持ったり、表現したりすること。現在取り組んでいる間接指導時の自分たちで学習を進める姿を見ていただきたいと思えます。まだまだやらなければならないことが山積している学級ですが、子ども達のがんばる姿を見ていただけるように準備してお待ちしております。猿払村立浜鬼志別小学校 5・6年担任 杉本 旬

